

## 第154回国際研修

### 「矯正・保護職員のストレスマネジメントー中間監督者の能力育成」

#### 1. 日程及び参加者

- 平成25年5月15日（水）～6月28日（金）
- 海外参加者8か国/地域12名（コースカウンセラー1名及びオブザーバー2名を含む）
- 国内参加者7名

#### 2. セミナー概要

本研修は、矯正・保護職員（以下「職員」という。）のストレスマネジメントという観点から、研修参加各国の犯罪防止及び刑事司法に携わる職員が所属する組織（以下「各国の刑事司法機関」という。）の中間監督者（主に課長・係長の職階にある職員）に職務を遂行する上で必要とされる能力（特に職務上の問題を解決する能力を指す。以下「中間監督者に必要とされる能力」という。）及びその能力の育成方法について総合的に話し合うことを目的とした。本研修は、各国の刑事司法機関における中間監督者の職務遂行能力の向上を通して、組織としての業務効率性を高め、その結果として、研修参加各国の犯罪の防止及び刑事司法を充実・発展させることを企図した。

#### 3. 客員専門家等

本研修の一環として、当研修所教官による講義のほか、以下の客員専門家・外部講師による講義を行った（敬称略）。

##### 【客員専門家】

- ルパリ・ジェスワル  
ジーフォポス・インテリジェンス・セキュリティ・ソリューションズ社最高経営責任者  
情報分析及びテロ対策専門家  
オペレーショナルサイコロジスト  
「矯正・保護職員のストレスについて特に“マインドウエア”という観点から」  
「矯正・保護職員のストレス原因の解決ために必要な技術としてのリーダーシップ」  
「犯罪者の処遇ー刑事施設におけるテロリストへの対応を中心として」
- デイビッド・プレスコット  
ベケットファミリーサービス  
サービス向上部長  
州認定臨床ソーシャルワーカー  
「リスク、ニーズ及び反応性 I」

「リスク、ニーズ及び反応性 II」  
「グッドライフモデルの性犯罪者処遇への応用」

【外部講師】

- 本田 恵子 早稲田大学教育学部教授  
「アンガーマネジメント」
- 高野 光司 早稲田大学教育学部助手  
小西 好彦 奈良少年刑務所教育専門官  
「ケーススタディ（アンガーマネジメント）：教育の充実と職場ストレス—奈良少年刑務所におけるアンガーマネジメントの導入」
- 石川 祐介 法務省保護局観察課調査官  
「保護観察における専門的処遇プログラムについて」
- 富山 聡 法務省大臣官房施設課長  
坂本格太郎 法務省大臣官房施設課上席施設企画官  
「日本の矯正建築」
- 渡部 孝治 横浜刑務所分類教育部首席矯正処遇官  
永野圭一 横浜刑務所教育専門官  
「ケーススタディ（矯正）：横浜刑務所における外国人受刑者に対する社会適応訓練について」
- 里見 有功 東京保護観察所保護観察官  
「ケーススタディ（保護）：保護観察官のストレス・マネジメントについて—東京保護観察所特別処遇実施班におけるチーム・ケアの実践」
- 室井 誠一 矯正研修所教官  
「リーダーシップ論」
- 山本麻奈 府中刑務所考査統括  
「日本の施設内処遇における処遇プログラムについて」

以 上